

第一線の体験談
進路選ぶ一助に
八幡浜工高出前授業

第一線で働く技術者の話を聞き、進路選択に役立ててもらおうと県空調衛生設備業協会(佐藤守成会長、44社)は27日、八幡浜市古町2丁目の八幡浜工業高校で出前授業を開いた。「建設マスター」と称される優秀施工者国土交通大臣表彰を2015年度に受けた吉国一さん(45)は、大洲市で技術を習得する努力の大切さを訴えた。



八幡浜工高生に努力の大切さを訴える吉国さん

た。
25年にわたって配管工事に携わってきた吉国さんは、周囲から褒

められることを糧に仕事に打ち込んできたといい「何事も諦めず努力すれば、必ず実になる」と強調。少しずつ取得した資格は15種類に上り「資格は自分のためにも、会社のためにも必要。若いうちに取っておいたほうがいい」と参加した1年生約80人にアドバイスしていた。

出前授業は10年度から県内の工業系高校で毎年開いており、6回目。